

「京都市コンテンツビジネス研究会」の設置について

～ 京都の強みを活かしたコンテンツ産業の発展に向けて ～

京都市には、「京都国際マンガミュージアム」をはじめ、芸術・映像・マンガを学べる大学、数々の映画の舞台となったロケ地・撮影所、海外の市場を席卷する世界的なゲーム関連企業など、各コンテンツ分野の豊富な資源が集積しています。また、1200年の歴史に彩られた伝統文化が息づくとともに、伝統産業や先端産業におけるものづくりの技術・精神が根付いています。

こうした京都の地域資源、産業集積を活かし、産学公が一体となってコンテンツ産業の創出、発展を図るため、新たに「京都市コンテンツビジネス研究会」を設置します。

この研究会では、マンガ・アニメ、映画、ゲームといった各コンテンツ分野の第一線で御活躍の方々や国の関係省庁などに参画いただき、分野を横断する「融合」の視点、全国・海外のマーケットを見据えたグローバルな視点、企業活動の現場からの視点といった多角的な視点から、幅広い議論をしていただきます。そして、研究会からの提言を踏まえ、「京都力」を活かしたコンテンツ産業振興施策を取りまとめ、実行していきます。

記

1 京都市コンテンツビジネス研究会の概要

コンテンツ分野に携わる総勢28名に参画いただき、京都の有する地域資源・産業集積を活かした、京都ならではのコンテンツ産業の創出、発展の方向性や、そのための具体策、課題解決策について議論していただく。

(1) 特 徴

ア 多角的で幅広い視点からの議論

次の3つの視点から委員の選定等を行っており、多角的で幅広い視点からの議論を進めていただく。

① 分野を横断する「融合」の視点

マンガ・アニメ、映画、ゲームなどの個別分野の領域を超えた視点から、更には、文化・観光といった側面から、新たな事業展開の可能性・方向性を模索する。

② グローバルな視点

日本のマンガ、ゲームなどは、海外でも評価が高い。全国・海外のマーケット動向を見据えた議論を行う。

③ 企業活動の現場からの視点

コンテンツが創作・展開される現場の意見をしっかりと汲み取りながら、議論を進める。京都市が実施する企業へのアンケート・ヒアリング調査の結果を研究会で活用する。

イ 委員の構成

- 第一線で活躍する学識者、業界関係者の参画

高度で幅広い議論を展開していただくため、各コンテンツ分野において我が国の第一線で御活躍の方々に参画いただく。

- 国の関係省庁の参画

全国・海外の市場動向、先進事例等の把握や、国の施策との効果的な連携を図るため、コンテンツ産業振興を担う経済産業省をはじめ、文化庁、観光庁の要職にあるの方々に参画いただく。

- 総勢28名 … 別紙「京都市コンテンツビジネス研究会委員名簿」を参照。

(2) 議論の内容

- 京都の強みを活かしたコンテンツ産業発展の可能性・方向性
- コンテンツ産業の発展に向けた具体策，課題解決策 など

(3) 設置期間

平成20年12月1日～平成22年3月31日

2 第1回京都市コンテンツビジネス研究会の開催

(1) 日 時

平成20年12月11日（木）午前10時～正午

(2) 場 所

京都国際マンガミュージアム 1階多目的映像ホール
（京都市中京区烏丸通御池上ル 元龍池小学校）

(3) 議 題

- ・ コンテンツ関連企業へのアンケート調査，ヒアリング調査について
- ・ 国内・海外のコンテンツ産業の動向について
- ・ 意見交換

(4) 研究会の傍聴

傍聴は，当日開始30分前から15分前の間に会場で受け付けます。

会場の都合により，希望者が定員（20名）を超えた場合は，抽選によって決定します。

なお，記者席は別途用意します。

3 今後のスケジュール

- 平成20年12月～
- 京都市コンテンツビジネス研究会の設置
平成20年度は，3回程度開催（予定）。
 - コンテンツ関連企業へのアンケート調査・ヒアリング調査の実施
京都市が，企業活動の現場が抱えるニーズ，課題などを調査。
調査結果を研究会へ情報提供し，基礎資料として活用していただく。

- 平成21年度
- 京都市コンテンツビジネス研究会を継続開催（～平成22年3月）
研究会におけるそれまでの議論，企業に対する調査結果を踏まえ，より具体的に議論。
 - コンテンツ産業発展に向けた施策の取りまとめ
研究会の議論，提言を踏まえ，京都市がコンテンツ産業振興施策を取りまとめる。

京都市コンテンツビジネス研究会委員名簿

(本市委員を除き五十音順, 敬称略)

氏名	役職等
いくみ 井汲 泰之	株式会社松竹京都撮影所映像部
稲垣 繁博	京都商工会議所産業振興部副部長
宇田 敏彦	京都コンピュータ学院デジタルゲーム学系長
岡本 圭司	京都府商工労働観光部ものづくり振興課長
柏瀬 武	NHK 京都放送局局長
齋藤 茂	株式会社トーセ 代表取締役社長
坂田 俊嗣	株式会社界グラフィックス 代表
酒谷 正人	リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ株式会社代表取締役 CEO
佐藤 徳夫	日本経済新聞社編集委員
清水 明	文化庁文化部芸術文化課長
砂田 和寛	KBS 京都ラジオ営業局事業部長
高木 英彦	経済産業省近畿経済産業局コンテンツ産業支援室長
高橋 剣	東映株式会社 京都撮影所 製作部次長
滝口 洋子	京都市立芸術大学美術学部准教授
土佐 尚子	京都大学学術情報メディアセンター特定教授
ごうき 西谷 剛毅	京都リサーチパーク株式会社 理事
かいぞう 林 海象	京都造形芸術大学芸術学部映画学科教授・学科長
細井 浩一	立命館大学映像学部教授・副学部長
牧野 圭一	京都精華大学名誉教授・国際マンガ研究センター長
水嶋 智	観光庁観光地域振興部観光資源課長
あきよし 三宅 章介	京都嵯峨芸術大学芸術学部メディアデザイン学科教授・学科長
けいすけ 村上 敬亮	経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長
ゆん とつきゆん 尹 徳均	京都新聞社編集局メディア編集部長
渡辺 康一	ウェブマックス株式会社 代表取締役社長
平竹 耕三	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長
江川 博	京都市産業観光局商工部産業科学技術振興担当部長
永井 久美子	京都市産業観光局観光部長
藤田 裕之	京都市教育委員会事務局生涯学習部長